

社会貢献

OKIグループは、社会貢献活動の基本理念・基本方針に則り、寄付や保有施設の開放、社員のボランティア活動支援などを組織的に推進しています。ボランティア活動には、月々の募金による寄付型の活動と、社会福祉や環境保全などに関連する参加型の活動があります。また、より幅広い活動を行うため、各種のNGO/NPOと広く交流・協働しています。

東日本大震災への対応

OKIグループは2011年3月に発生した東日本大震災で被災された方々の救援および被災地復興のために、義援金およびITネットワーク関連機器を合わせて総額1,000万円を超える支援を行うことを決定しました。また国内で労使共催による社員募金を行っているほか、海外でもグループ社員による募金を実施しています。

寄付型ボランティア「OKI愛の100円募金」

OKIグループは、活動の主旨に賛同するグループ会社(2011年4月時点で24社)の役員・社員から毎月100円の募金を集める「OKI愛の100円募金」により、日本赤十字社への献血運搬車寄贈や、ボランティア団体の支援などを実施しています。

2010年度は国連グローバル・コンパクトへの参加を機に、ボランティア団体の支援基準を見直し、「国連ミレニアム開発目標(MDGs)に沿った活動をしている」などの項目を取り入れました。

MDGsと2010年度に「OKI愛の100円募金」が支援したボランティア団体

MDGs	団体名
目標1 極度の貧困と飢餓の撲滅	特定非営利活動法人 ハンガー・フリー・ワールド
目標2 普遍的初等教育の達成	特定非営利活動法人 ラオスのこども 一般財団法人 民際センター 特定非営利活動法人 チャイルド・ファン ド・ジャパン
目標5 妊産婦の健康の改善 目標6 HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止	特定非営利活動法人 ピープلز・ホープ・ジャパン

なお2011年3月には、特定非営利活動法人ラオスのこどもが「OKI愛の100円募金」の支援により作成した紙芝居「小さな毛虫、葉っぱを探して」が、ラオスで現地出版されました。



紙芝居「小さな毛虫、葉っぱを探して」

「グリーンウェイブ2010」に参加し森林整備活動を実施

OKIグループは事業所にゆかりのある各地において、自治体やNPO、森林管理署と協定を結び、継続的に森林整備のボラン



小諸市「OKIグループが育てる森」にて

ティア活動を実施しています。2010年5月には、国連が定める「国際生物多様性の日」にあわせて環境省・国土交通省・林野庁が企業や団体に植樹などの実施を呼びかけた「グリーンウェイブ2010」に参加し、静岡県伊豆市ならびに長野県小諸市において森林整備を実施しました。

このうち小諸市では「国際生物多様性の日」である5月22日に、社員・家族など49名が参加して植樹、下草刈、枝打ちなどの活動を行いました。OKIグループは国内ではこのほか群馬県高崎市でも森林ボランティアを実施しており、2010年度は延べ230名が活動に参加しています。

中国 深圳市で植樹活動を実施

中国でATM・プリンタの製造・販売を行う沖電気実業(深圳)有限公司は、2011年3月、生産拠点のある深圳市南山区の中山公園において、社員による植樹活動を初めて実施しました。同社は2001年の設立後、環境マネジメントシステムの構築、定期的な工場周辺の清掃など、本業および地域貢献の両面で環境保全活動を推進しています。今回の植樹活動は、景観の保全および地域貢献とともに、社員の環境に対する意識をさらに高めることを目的に実施され、45名の社員がボランティアで参加して、約200本の桃の木を植えました。

タイ北部で山岳民族の小学校を支援

タイ北部の生産拠点であるOKIプレシジョン・タイランドでは、2009年度から毎年、山岳民族が住む山村の小学校を訪問して、必要な物品などを寄贈しています。2010年度は12月に社長をはじめ約30名の社員が、山岳民族の一つであるカレン族の子どもたちが通う小学校を訪問し、社員からの寄贈品として衛星放送受信アンテナや文房具、玩具、古着などを寄付しました。また、山の水をそのまま飲むために健康被害が懸念されている村の状況をふまえ、会社からの寄贈品として飲料水用のろ過設備を設置しました。



寄贈品を受け取ったカレン族の子ども